



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

舎印

平成30年 6 月 25 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

団体名 とくていひえいりかつどうほうじんじょうどうだい 特定非営利活動法人 城 東台みんなの ごじょかい 互助会

所在地

連絡先

代表者 役職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	ア 地域課題解決 ☒ イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「これからも住みやすい地域づくり」に向けたアンケート調査
事業実施小学校区・地区	城東台小学校区
事業実施回数	☒ 新規 ・ 継続 回目 / 【 年度から】
課 題	元々ぶどう畑が広がっていた丘陵地に大規模団地が造成されて30年以上が経過し、家屋を新築して移り住んだ第一世代は、今後一斉に後期高齢期を迎えることになります。 一方、第一世代の子どもたちの多くは同居しておらず、日常生活における血縁関係を軸にした世代間の支え合いが期待できない世帯が多数となってきます。 また、住民同士は、元々見ず知らずの寄り集まりであり、入居後の交流が必ずしも活発とは言えないことから、近隣での見守りや支え合いも機能しにくい状況です。 こうしたことから、今後、地域で安心して暮らし続けるうえで、介護保険などの公的な支援以外にも必要となる身近な機能、支援、サービスに、相互扶助や地域協働で取り組むことも想定されます。 そこで、まずは対象者を世帯ではなく高校生以上の全ての個人へと広げてアンケートを実施し、お住いの皆さまのお声を広くうかがうこととしました。
事 業 の 目 的	・住民が必要と感じている機能やサービスを分析した基礎データを持ち、それらの優先度や重要度を把握し、地域で共有すること。 ・また、アンケートによる地域の共通認識をベースに、今後の実施計画を検討・事業化に向かうこと。

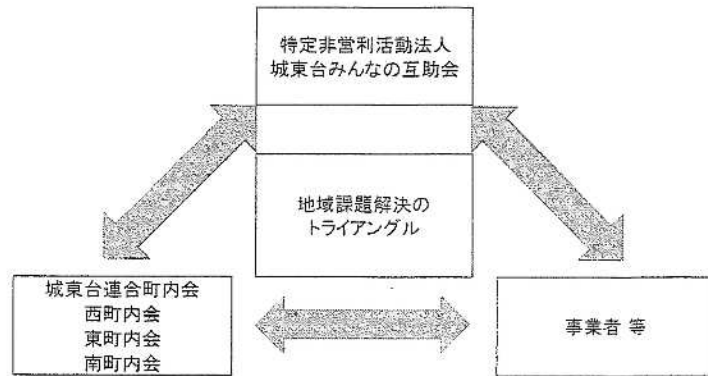
事業の内容	◆アンケート調査事業 ・アンケート（案）は別紙のとおりです。 ・このアンケートは、無記名方式でおこないます。 ・このアンケートは、町内会を通じて配布し、封筒に入れて回収いたします。 ・このアンケートの対象者は、高校生以上の全ての個人です。 ※町内会に未加入の方にもご協力をお願いいたします。 ・このアンケートは、町内会各班にて回収をお願いいたします。 ◆アンケート分析事業 ・このアンケートは、事業者に委託して年齢・性別・世帯構成・公共心などのクロス集計と分析を行います。 ・このアンケートの集計結果は、町内会を通じて住民の皆さまにお知らせするとともに、地域で報告会を開催いたします。 ・このアンケートは、アンケート結果の分析以外の目的で使用しません。
期待される成果・目標	・住民個人や、主体的に活動を行っている町内会をはじめとする団体の「認識や既存の行事・事業」と「アンケート調査・分析結果」を比較し、データに基づいた学区での目線合わせや合意形成が期待される。 ・その結果、協働（を想定）している町内会や事業者と、具体的な取り組みや事業立案のスタートラインに立つことができる。
企画などの工夫	・対象を世帯ではなく個人にした。 ・年齢・性別・世帯構成だけでなく、公共心・ボランティアマインドなど多様なクロス集計を行うことで、よりくつきりと住民のニーズや不安、地域の風土が浮かび上がるようにした。 ・町内会との連携を念頭に、町内会や近所づきあい、健康に関する取り組みなどの項目を設けた。
協働する団体等	・城東台学区連合町内会 ・城東台西町内会 ・城東台東町内会 ・城東台南町内会 ※上記以外の協働では、アンケート後に地域の事業者等と連携し、事業化にむけた検討を予定している。
事業の情報公開	・アンケート実施前に各町内会への趣旨説明を丁寧に行い、各町内会から住民への広報等による周知のご協力をいただく。 ・アンケート結果は、グラフなど分かりやすく見やすい報告書で住民にお知らせするとともに、住民報告会を開催する。 ・また、ウェブサイトについては、岡山市「つながる協働ひろば」での発信を期待しています。（団体のウェブサイトも立ち上げを検討中です）

学区 地区 への 広がり	・小学校区で実施する。 ・小学校区近隣の町内会及び事業者等との交流の広がりの中で、同様の課題を抱える他地域の先行モデルとなれるよう取り組みたい。
前 年 度 か ら の 見 直 し 拡 充 点	・新規事業として取り組む。
次 年 度 以 降 の 予 定	① 次年度以後の活動計画 ・協賛事業者等による、生活に密着した地域セミナーを定期的（月１回程度を想定）に開催し、啓発や住民同士、あるいは住民と事業者、また事業者間の交流を促進、そしてボランティア人材の発掘・育成を図る。 ・日常的に誰もが利用できる交流拠点、「お茶の間」・「縁側」的な拠点の整備に向けた検討を行う。 ・買い物支援、移動支援、配食支援、生活支援、相談支援などの事業について検討を行う。 ②資金の確保について ・次年度以降も補助金活用を視野に事業を検討する。 ☑次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☑検討状況に応じて「地域の未来づくり推進事業」への応募をしていきたい。 ・活動や事業目的への理解や共感を広げ、賛助会員等を募る。
そ の 他 P R し た い 点	・同様の課題を抱える他地域の先行モデルとなれるよう取り組みたい（前掲）。 ・地元町内会等との関係と基本的な役割 関係 ✓ 城東台みんなの互助会は学区町内会・事業者等を協働のパートナーとし、地域課題の解決に努める。 ✓ 城東台みんなの互助会は、事業に当たって、その目的や内容を学区町内会と共有する。 ✓ 学区町内会は、住民と城東台みんなの互助会の間で、相互の情報交流・情報提供に努める。

役割

✓

特定非営利活動法人
城東台みんなの互助
会は、学区町内会と
連携して、地域課題
に対応したサービス
等を持続的な事業と
して提供する。



事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月	
6月	NPO法人設立総会 (6/8) 町内会、連合町内会との打ち合わせ (6/9) 区づくり事業申請
7月	アンケート検討会議 (7/下旬)
8月	委託事業者との打ち合わせ (8/下旬)
9月	印刷物、発注 (9/1) 町内会、連合町内会との打ち合わせ (9/8) 委託事業者との契約 (9/中旬)
10月	アンケートの配布 (10/1) アンケートの回収 (10/31)
11月	委託事業者による調査票の入力 (11/1～) 委託事業者による分析 (11/16～)
12月	報告書納品 (12/末)
1月	企画検討会議 (1/中旬) 岡山市の補助金事業への申請 (1/中旬) 地域での報告会と各家庭への広報 (1/下旬)
2月	企画検討会議 (2/中旬)
3月	企画検討会議 (3/中旬)

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位：円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	0	208,900	(4/5)
実施団体負担金	0	52,298	
計	0	261,198	

◆ 支 出

単位：円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	0	154,710	
内 調査票製版印刷	0	(45,360)	3,500 枚用紙代、印刷代
内 調査票折加工	0	(11,340)	3,500 枚 (3 回折加工)
内 調査用長 3 封筒製版印刷	0	(24,570)	3,500 部封筒代、印刷代
内 報告書製版印刷 (A4、8P)	0	(62,640)	2,000 部
内 報告書折加工 (A4、8P)	0	(8,640)	2,000 枚×2、折加工
内 報告書製本 (A4、8P)	0	(2,160)	2,000 部、中綴じ
委託料	0	102,600	
内 調査票入力	0	(16,200)	
内 調査票分析	0	(86,400)	
通信運搬費	0	3,888	計 3 回分送料
計	0	261,198	

◆概算交付の要否（いずれかに○をしてください）。（補助金額が20万円を超える場合のみ）

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

団体設立から間がないため事業資金が不足しており、且つ、事業に要する支出は補助金交付に先行して発生するため。

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

注③